

いないいないばあ

— 令和元年 秋 号 —

● 発行元 ●

日本赤十字社富山県支部受託
富山県立乳児院
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238

児童相談所全国共通ダイヤル

189

いち はや く

児童虐待かもと思ったら
すぐにお電話ください。

(いちはやく)

『189 ちいさな命に待ったなし』



うんとうあそび

天候不順が続くと、体を動かしたいムズムズさんが出てきますね。そこで、乳児院のほとんどの部屋を使って森の収穫祭」と銘打った運動遊びを行いました。

子どもたちは、手押し車をマイカーにしておやつがある2階に到着。美味しい時間の後は、いよいよ森の中へ。

連結ブロックの階段や

坂道、平均台の細道からデコボコ道を通ると大きな畑に到着です。色づいてたわわに実ったリンゴやブドウ、カラフルな色の帽子を被ったキノコやネギたち……



子どもたちはそれぞれの作物の畑に

直線に走ると今度は息を整えて、ネギを

「えいやあ！」すぽーん、ブドウ棚のマスカットや巨峰を籠からこぼれても

「もっと！もっと！」と収穫体験に熱中しました。

収穫体験後は、パラバルーンをしました。「パプリカ」

のメロディに合わせて大きくなったり、小さくなったり。練習なしの本番とは思

えない大きな歌声と息びつたりの演技で周りの人たちはビックリしたよ。

「楽しかった！」があふれたみんなの笑顔でした。



あき 秋のえんそく

10月31日(木)赤十字病院前から地鉄バスに乗って、城址公園と市役所の展望台に行ってきました。子どもの参加人数は2名でしたが、フットワーク軽く芝生広場ではハトを追いかけたり、枯葉を集めてシャワーのようにかけたり、養育者の手にとまったトンボを恐る恐るのぞき込んだりして、たっぷり遊びました。

市役所展望台では、窓ガラスに手をつけて膝をつき下をのぞく姿が可愛らしく、「バス!」「くるま!」と何度も何度も場所を変えて覗き込んでいました。帰りのバスもテンション高く、おしゃべりが止まらず楽しい時を過ごせたようでした。



これからの行事

12月 クリスマス

プレゼント 待ち遠しいね!!



七五三詣り

とても良いお天気に恵まれた

11月中旬。もうすぐ満三歳になるY君が七五三詣りに行きました。

初めて着る羽織袴に戸惑いの表情でしたが、お友達や職員から「かっこいい!」「すてきだね!」と言われると恥ずかし

がりながらもまんざらでもない様子でした。初めて草履をはき、ぬけそうになりながら本殿までゆっくりゆっくり歩いて行くことができました。

Y君には「お宮さん

に行つてアメちゃんも

らつてこようね」と話

していたので、御祈禱

の最中にも「アメは?」

と声が出てしまい「しー

っ」と静止されることも……。

神主さんから大きい風船と念願の千歳

飴をいただき満足げに帰ってきました。

Y君の成長を感謝し、これからの無事を祈った七五三詣りでした。



心からの「寄付ありがとうございます」でした。

8月

- 川崎 志桜里さん(富山県)
- 越湖 裕さん(富山県)
- 小松原 康史さん(東京都)
- 三村 和豊さん(富山県)
- 坪田 知江さん(富山県)
- 9月
- 高林 尚広さん(富山県)
- 福田 栄作さん(富山県)

10月

- 木村 明日美さん(東京都)
- 秋吉さん(岐阜県)
- ますきよんさん(富山県)
- 株式会社KANAYA
代表取締役 松井 勝馬さん(富山県)
- 加藤 美穂さん(富山県)
- キーン 三枝 沙織さん(東京都)

- 田村 知江さん(富山県)
- 中村 まりさん(神奈川県)
- 赤羽 祐美さん(東京都)
- 竹内 洋介さん(富山県)
- 岡田さん(富山県)
- 田村 あいさん(神奈川県)
- 忍 麻衣さん(千葉県)



「家庭がはぐくむ笑顔」

富山県では約80組のご家族が里親登録されています。

日頃知ることのできない里親家庭の子育てや思いを、里親さんの言葉で記していただきました。

●その22

私は、学生時代の児童養護施設のボランティアの経験を通して、施設の子どもたちのことが気になっていました。

子どもを受入れてから、8年になります。我が家に来た4歳の頃はまだ背も小さかったのですが、今は私より身長が高くなりました。

子どもは数年前から鼓笛隊に入り練習を続けていますが、

6月の練習がしんどかったよ
うで、「厳しいからイヤ。」と
言い、休んでしまいました。翌
月の練習はどうするのかと見
守っていましたが、「練習に行
く。」と言い、再び参加しまし
た。このまま辞めてしまうのか
など心配していたので、嬉しかっ
たです。真夏の太陽の元で頑張
って練習した甲斐もあり、大会
で金賞をもらいました。

科学の進歩で家にもいってもい
ろんな事が分かる時代になり
ましたが、私はやっぱり体験す
ることが大切ではないかと思
います。
子育ては、4人の子どもやそ
の家族、児童相談所、学校の先

生、里親の仲間、子どもに絵を
教えてくれる絵画教室の先生、
近所の皆さん、沢山の方に助け
られています。

そのお返しではないですが、
今度は私が里親仲間の子育て
を応援していきたいと思っ
ています。

私には嬉しい時もつまずい
た時も家族が傍にいてくれま
した。家族を知らずに
大人に成長した子ども
たちが、社会で生きて
いくことは大変なこと
のように感じます。一
人でも多くの子どもた
ちが家族の温もりの中
で育ってほしいと思います。



富山県立乳児院病児保育室『おひさま』は
体調不良のお子様をお父さんお母さんに代わって、家庭的な雰囲気の中で保育します。

～富山県立乳児院
“病児保育室『おひさま』だより”～

「元気にな～れ!!」

寒さに向かうこの時期には風邪防止の
ためにも栄養を取り、体をしっかり休め
ましょう。

「寝る子は育つ」というように成長には
上質な睡眠が欠かせません。

子どもの心身の成長のためにも早寝早
起きと十分な睡眠をとって生活のリズム
を作り体調を整えていきましょう。



スタッフ日誌より

- 最近、おひさまを利用される子どもさんに
●も喘息、気管支喘息の子どもさんが増えます。
●おひさまでは寝ている時に上体を少し高く
●なるようにしたり、白湯やお茶を飲ませての
●どを潤したりしています。そのためか幾分呼
●吸が楽になり、咳も落ち着いてきます。痰が
●からんでいる時は背中をさすったり、トント
●ンと軽くたたいて、痰を切りやすくしていま
●す。
●少しでも回復が進むように体調を整える関
●わりを心掛けています。